

トライブリッド 蓄電システム®

Q&A

nichicon

電気をたくわえ、上手につかうテクノロジー

家庭用蓄電システム

2020.2

ホーム・パワー・ステーション®

Home Power
Station

どのメーカーの
電気自動車に
対応していますか？

主な日本メーカーの
電気自動車に
対応予定です。



日産自動車(株) 旧型リーフ・
新型リーフ、三菱自動車工業(株)
様 i-MiEV・MiNiCAB-MiEV・
アウトランダーPHEVなど。

使ううちに
どんどん蓄電容量が
減るのでは？

長寿命の新開発
リチウムイオン蓄電池を
採用しています。



携帯電話やスマートフォンなどに
使われる電池とは違い、電気自動
車用に開発された長寿命設計の
蓄電池を採用しています。

どのメーカーの
太陽光パネルと
接続できるの？

継続保証などの確認は、
販売店に
ご相談ください。



技術的にはどのメーカーでも接
続可能となる予定です。

動作中の
騒音レベルは
どのくらい？

図書館と同等の
静かさです。



40dB以下となっており、図書館
と同等の静かさとなります。

停電時、切替操作
などは必要？

機器が自動で
切り替えます。



停電になった場合、機器が約1秒
間のブランクの後、自動で切り替
えます。

停電時のために、
蓄電容量を
残しておく？

『非常時安心設定』で
設定できます。



『非常時安心設定』をしておけば、
災害時のために常時残しておく
電気残量を30%から70%の間
で設定できます。

蓄電池の充電には
どのくらい時間が必要？

約2時間で満充電。



満充電まで約2時間で充電でき
ます。(8kWhに増設時は約4時
間です)

電気自動車への充電は
時間がかかるの？

通常の充電設備の、
最大約2倍の
スピードです。



200V普通充電設備に比べ、最
大2倍の早さで充電が可能です。

安全に関するご注意

●ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みください。ご不明な点は予めお買い上げの販売店または工事会社にご相談のうえ、正しくご使用ください。●人命に直接かわる医療機器などへの接続は絶対にしないでください。●植込み型心臓ペースメーカー及び植込み型除細動器(ICD)を使用している方は、充電中、給電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので使用しないでください。●充電中、給電中の本製品に近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合には、立ち止まらずに速やかに離れてください。●機器本体部及び充放電コネクタに密着するような姿勢はとらないでください。●本製品を操作する必要がある場合は、他の方をお願いしてください。詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会のホームページをご確認ください。●本機を本来の充放電以外の用途に使用することは危険ですので行わないでください。

ずっと使うものだから、
専門メーカーならではの安心を。

2012年の初出荷以来、累計 69,000 台以上を販売しているトップメーカー*。
ニチコンは、電力小売自由化や、家族の未来まで考えて、蓄電システムを提案します。

※2019年12月現在、ニチコン調べ。

製造元

ニチコン株式会社

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845

http://www.nichicon.co.jp/

製品に関するお問い合わせ

家庭用蓄電システムお客様窓口

☎ 0120-215-086 (フリーダイヤル)

e-mail: info-ess@nichicon.co.jp

受付時間: 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 (土・日・祝日・休業日は除く)



販売店

CAT.6200-T1T2-a NA.2020B.24C

太陽光発電は
つかって、ためて、
はしる時代へ

家もクルマもこれ一台

トライブリッド蓄電システム®



V2H スタンド



トライブリッドパワコン®



蓄電池ユニット



室内リモコン

蓄電の **nichicon**

電気自動車をソーラーカーに。 ちょっと未来の蓄電システム。

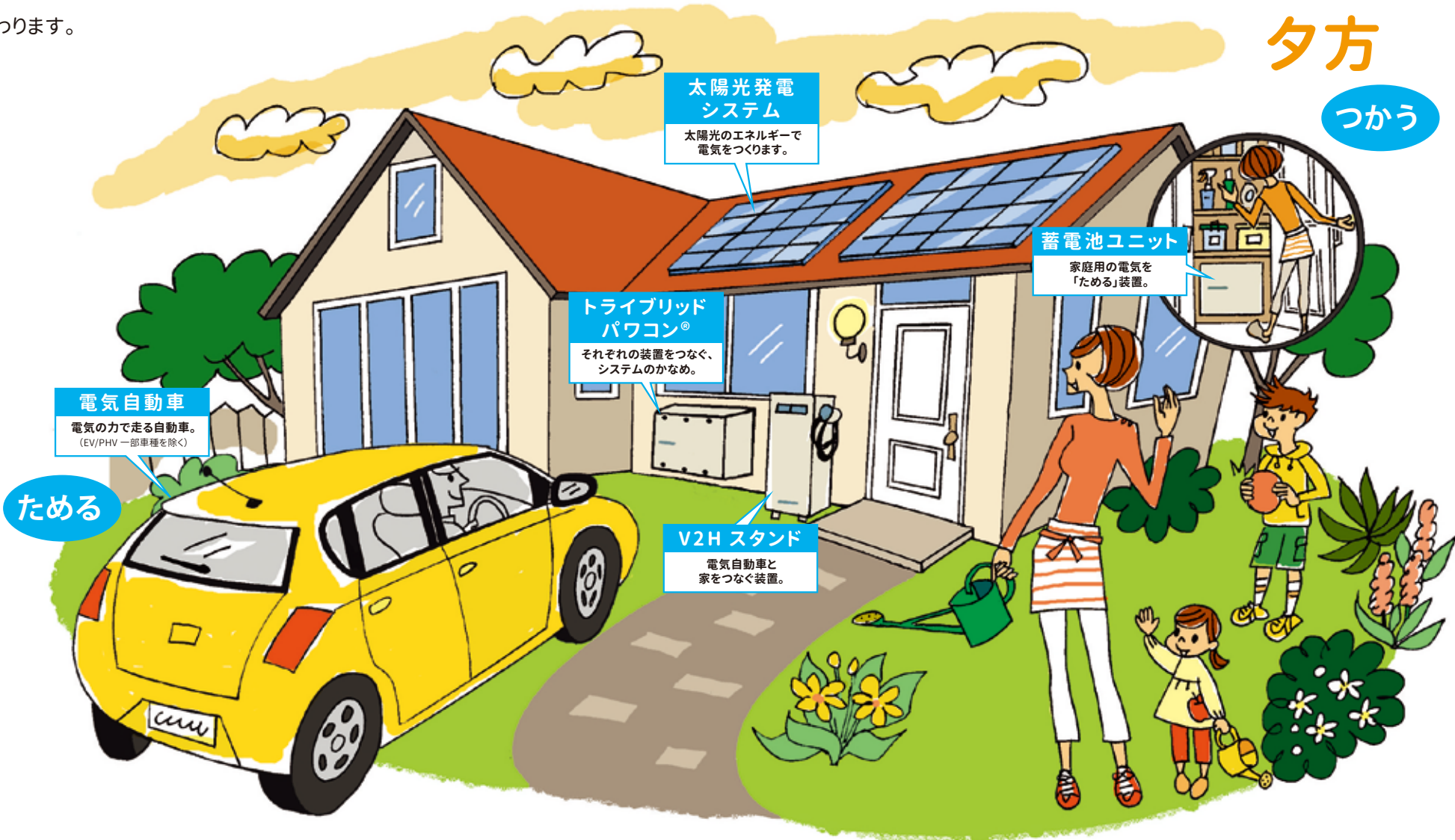
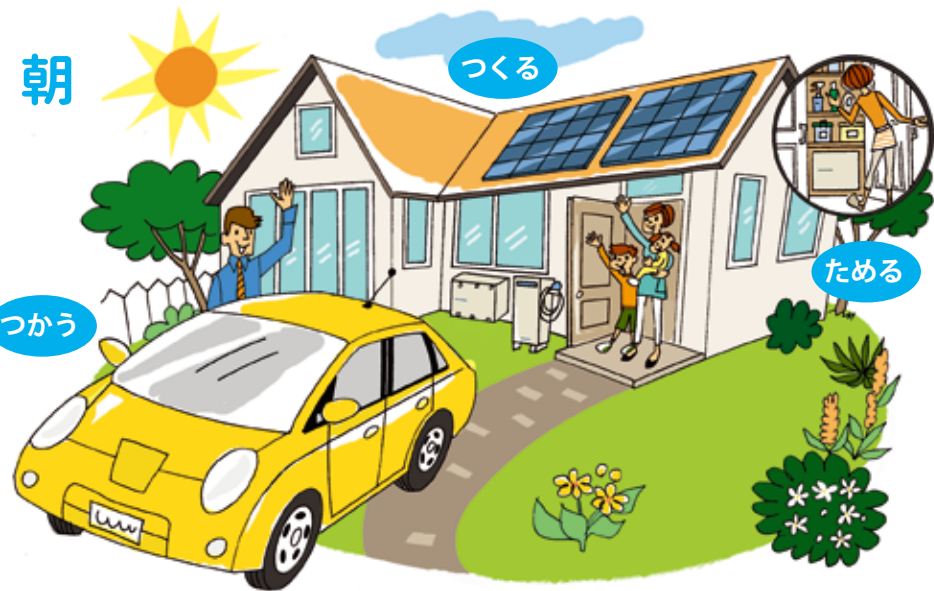
家庭で電気をためられる「蓄電」システム。
太陽光発電でつくった電気をためることで、夜間や非常時にも自家製の電気を使えます。
新しく登場した「トライブリッド蓄電システム®」は、自宅の電気はもちろん、
新たに電気自動車や PHV とも組み合わせられるようになりました。
太陽光からうまれた電気を使うことで、電気自動車はソーラーカーとして生まれ変わります。

動画でわかる
トライブリッド蓄電システム®

EV が当たり前になる、これからの時代。
トライブリッド蓄電システムのある未来の暮らしを
スマートフォンやタブレットでのぞいてみましょう。

Scan!

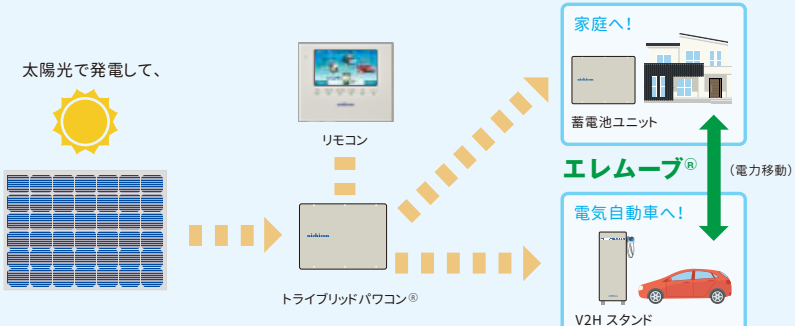




エレムーブ®で自家製電気を上手にやりくり。電気は自給自足へ。

太陽光発電でつくった電気で、自宅や電気自動車の電気をほとんどまかなう暮らし方。自宅と電気自動車の間で電気を移動させる「エレムーブ®」によって、家もクルマも電気の自給自足を目指します。

ニチコンのトライブリッド蓄電システム®



太陽光で発電して、

リモコン

家庭へ！

蓄電池ユニット

エレムーブ® (電力移動)

電気自動車へ！

V2H スタンド

トライブリッドパワコン®

Column

世界で 300 万台を超えた電気自動車。 電気自動車などの世界累計販売台数は、2017 年に約 300 万台を超えました。2014 年から急速に普及が進んでおり、世界シェアトップの中国は 65 万台にものぼります。日本でも今後普及が見込まれており、2030 年には世界で 2150 万台の販売台数となる予定です。 ※国際エネルギー機関発表より(2018 年 5 月)	ヨーロッパの国々では、ガソリン車が売られなくなる？ フランスとイギリスでは地球環境への影響に配慮して、2040 年までにガソリン車とディーゼル車の販売を禁止する方針が打ち出されました。電気自動車の普及は世界的に進んでいくとも見られています。やがて「電気自動車が当たり前」になるかもしれません。	電気自動車というだけでは、エコにならない？ 走行中に排ガスを出さない電気自動車ですが、発電方法によっては発電時に CO₂ を排出してしまいます。太陽光発電は CO₂ を出さずに発電できるので、電気自動車と組み合わせることでより環境に配慮した暮らしができます。
---	---	--



Point 1

「いつも」の街乗りは、太陽光発電で。

4kWh（増設ユニットで 8kWh に拡張可能）の電気をためられるトライブリッド蓄電システム®。毎日の通勤やお買い物にクルマを使っている方なら、昼間発電した電気を夜間に電気自動車に電力を移動（エレムーブ®）させることで、毎日の電気自動車のエネルギーが自家製電気でもかえれます。



太陽光発電+電気自動車

蓄電システムがなければ、発電時に余った電気をためておけないので、通勤に電気自動車を使う方は、発電した電気を昼間に充電できません。



昼間クルマがないから充電できない！

トライブリッド蓄電システム® （太陽光発電+電気自動車+蓄電池）

昼間、太陽光発電の電気を蓄電池にためて、夜間に電気自動車へエレムーブ®。



蓄電しておいた電気を使って帰宅してから充電！

エレムーブ®

Point 2

「もしも」の停電時も、電気を使えるから安心。

停電したときも蓄電システムがあれば、蓄えておいた電気が使えて安心です。さらに、トライブリッド蓄電システム®なら電気自動車にためた電気も使うことができるので、長期間の停電でも安心です。蓄電池の電気を使いきっても、太陽光で発電すれば、また蓄電池に電気を蓄えられます。



Column

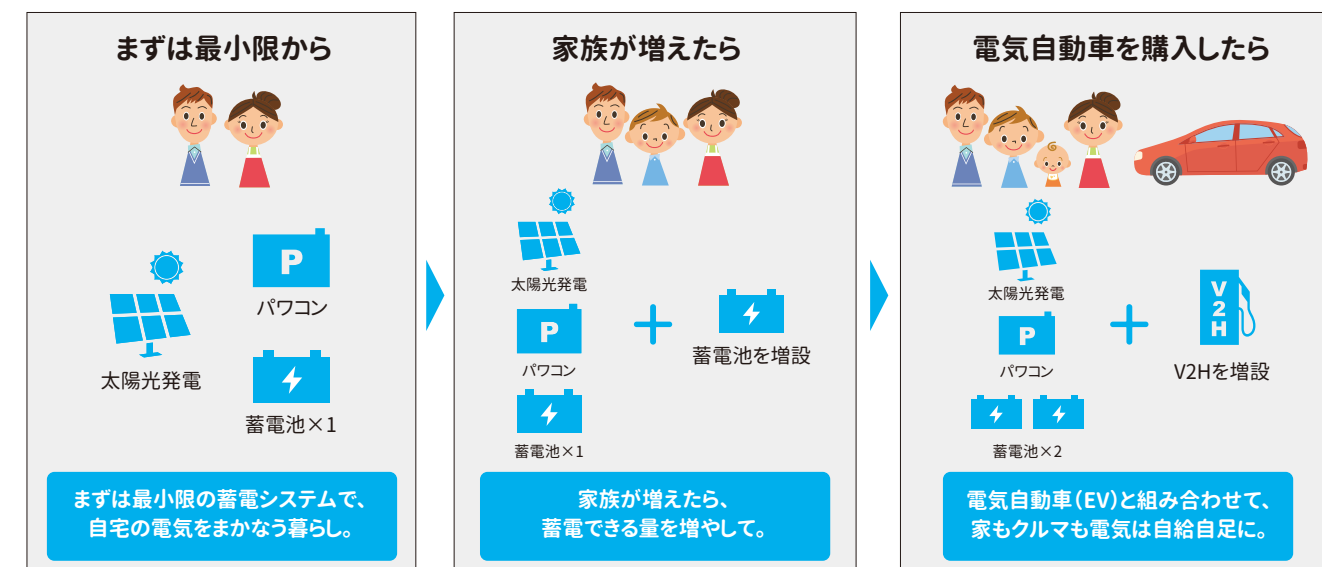
熊本地震のときにも役立った蓄電システム。

2016年4月に起きた熊本地震。熊本県では約47万戸が停電、復旧まで最大5日を要しました。当時、熊本県で稼働していた当社蓄電システムは約150台。「夜間でもスマートフォンが充電できたのでリアルタイムの情報が得られた」という停電対策だけでなく、「照明が点灯できたので車中泊をしても泥棒に入られることがなかった」と、防犯対策にもつながりました。

Point 3

あなたの暮らしに「ずっと」寄り添う。

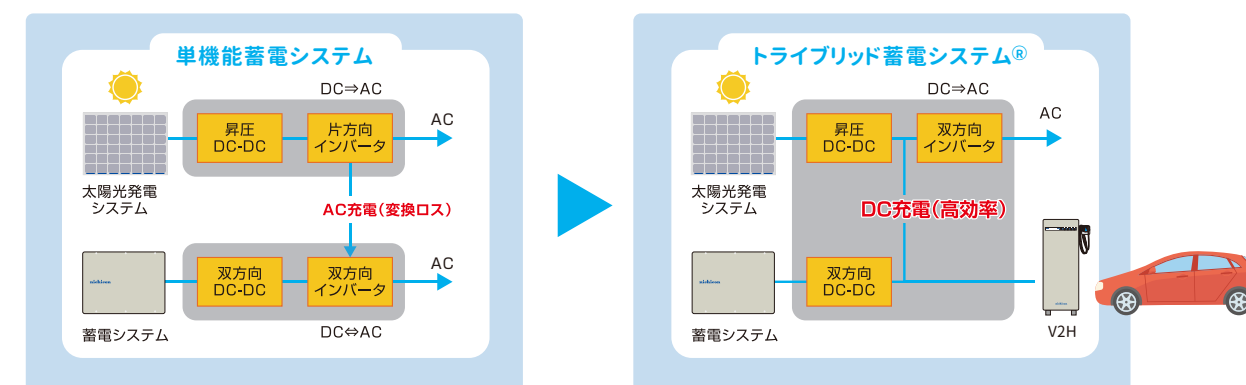
トライブリッド蓄電システム®なら、太陽光パネルや蓄電池の増設、さらに後からV2Hスタンドを追加することも可能です。ユーザーの暮らしに合わせてシステムの構成を変えることができます。



Point 4

つくった電気を「ムダなく」使える。

電気にはAC（交流）とDC（直流）があり、どちらかに変換するときに、失われてしまう電気（変換ロス）があります。トライブリッド蓄電システム®では、それぞれの機器に電気を移動させる際に電気の変換をほとんど必要としないので、つくった電気をムダなく使うことができます。（※タイプ1の場合。）



Column

南海トラフ地震が起これば、多くの地域で停電が起こります。

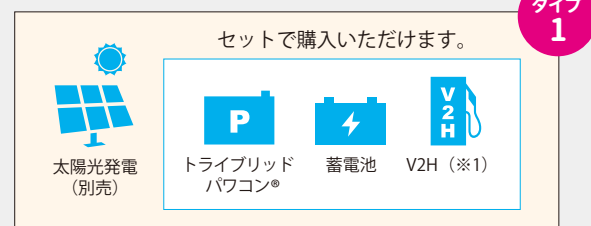
南海トラフは、日本列島が位置する大陸のプレートの下に、フィリピン海プレートが年間数cmずつ沈み込んでいる場所。この南海トラフ沿いで、30年以内に高い確率でマグニチュード9を超える巨大地震が発生すると予測されています。内閣府中央防災会議によれば、地震直後の停電件数は最大約2,710万軒。事前の防災意識と準備が必要です。

暮らしに合わせて追加できるトライブリッド蓄電システム[®]。

まだ太陽光発電を始めていない方はもちろん、既に導入されている方も今お使いの太陽光発電システムを活かしてトライブリッド蓄電システム[®]に切り替えることができます。 ユーザーそれぞれの暮らしに合わせられる **タイプ1** (ESS-T1 システム) と **タイプ2** (ESS-T2 システム) をご用意しています。

これから家を購入される方、または太陽光発電を初めて設置される方

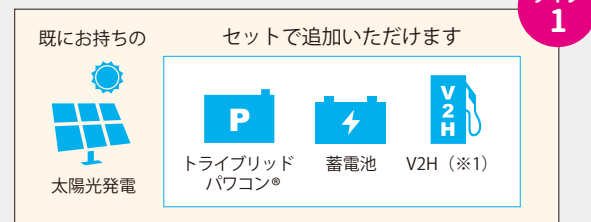
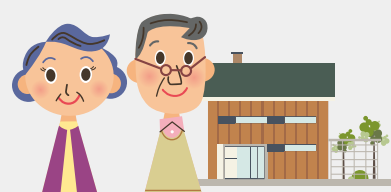
新たに家を購入される方や、太陽光発電を始めようとしている方には、太陽光発電と合わせてトライブリッド蓄電システム[®] (タイプ1) を購入いただけます。「いつも」「もしも」もお得で安心な暮らしがスタートします。



タイプ1

10年間の売電が終了される方、または太陽光パワコンを買い換え希望の方

自宅での太陽光発電歴が長い方には、トライブリッド蓄電システム[®] (タイプ1) がオススメです。10年間の固定価格買取制度が終了される方や、現在お使いの太陽光パワコンの買い換えが必要となった方は、つくった電気を売電する暮らしから、電気をお得に使いきる暮らしに切り替えられます。



タイプ1

太陽光発電歴が短い方

自宅での太陽光発電歴が比較的短い方には、現在お使いの太陽光発電システムと組み合わせられるトライブリッド蓄電システム[®] (タイプ2) がオススメです。つくった電気を家とクルマで上手に使い切る、電気の自給自足が始まります。



タイプ2

※1 V2H スタンドは電気自動車を購入時にあとから増設することができます。

Column

パワコンの寿命について。

太陽光パネルの寿命が20年以上なのに対して、パワーコンディショナーは10年程度で交換するのが良いと言われています。すでに太陽光発電システムを導入されている方はまずパワーコンディショナーの交換が必要になりますが、今後の電気自動車の普及を踏まえて、電気自動車対応のトライブリッドパワーコンディショナーがオススメです。

毎日のクルマのエネルギーコストは0円に。

トライブリッド蓄電システム[®]と電気自動車を組み合わせることによって、毎日のクルマのエネルギーコストを下げることができます。

ガソリン車と電気自動車のエネルギーコストを比較してみると

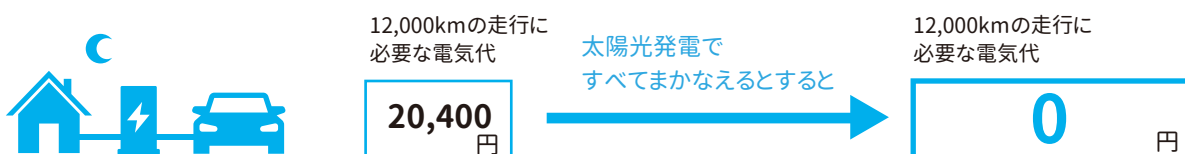
通勤に自家用車をお使いの方の走行距離は月に1,000km、年間12,000km程度だと言われています。(※2)

	走行距離	燃費	ガソリン代 (1Lあたり)	12,000kmの走行に必要なガソリン代
ガソリン車	12,000 km	12 (※3) km/L	140 (※4) 円/L	140,000 円
	走行距離	電費	電気代	12,000kmの走行に必要な電気代
電気自動車 (EV)	12,000 km	10 (※5) km/kWh	17 (※6) 円/kWh	20,400 円

電気自動車にすると年間 **119,600 円 節約に!**

※2 自動車保険各社推計をもとにニチコン算定 ※3 お持ちのガソリン車の燃費を12km/lとした場合の試算です。
※4 経済産業省 資源エネルギー庁 石油製品価格調査を参考(2018年2月) ※5 日産 新型リーフ(JC08モード)の場合 ※6 東京電力スマートライフプラン深夜料金を参考

さらに、トライブリッド蓄電システム[®]と電気自動車を組み合わせた場合



車のエネルギーコストが **0 円に!**

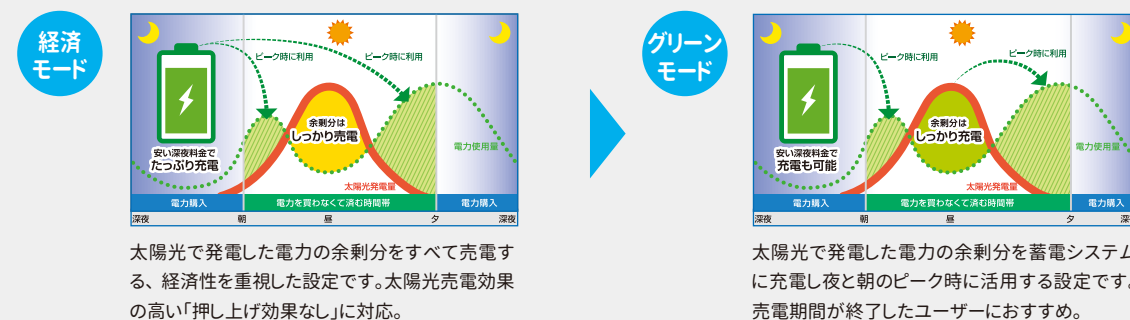
つまり…

ガソリン車と比較した場合、年間 **140,000 円**もエネルギーコストを節約!

※太陽光発電した電力を電気自動車に使用するとその分売電量が減ります。 ※あくまで試算であり効果を保証できるものではありません。 ※天候や家庭での電気使用量によっては0円にならない場合があります。

太陽光売電から自家消費へ選べる2つの運転モード

昼間に太陽光発電した電力を夜間に活用でき、エネルギーの自給自足に貢献。割安な深夜電力を充電して、昼間の電力使用量ピーク時間帯に利用し、効率よく電気料金を節約することも可能です。



Column

売電の先の暮らし方。

電気を決まった価格で売電できる「固定価格買取制度」は、10年などの期限が設けられています。期限を過ぎた後は売電価格が大幅に下がると予想されるので、電気は売るよりも使い切る方がお得になります。また、固定価格の金額も年々引き下げられているので、これから太陽光発電を始める方も、売電するより使い切る方がお得です。

トライブリッド蓄電システム® 設置イメージ

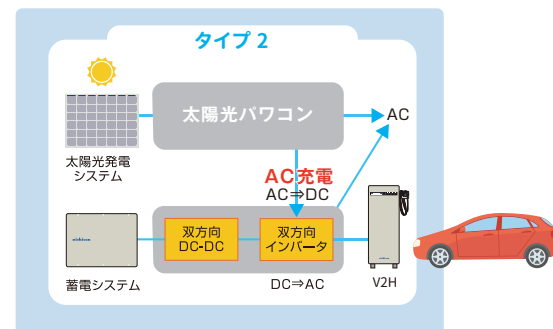
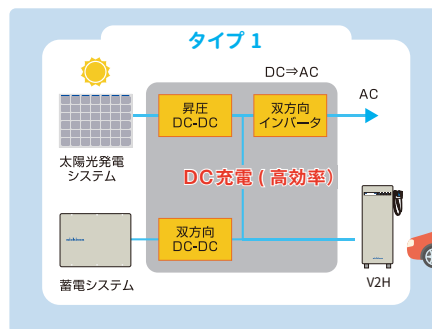


トライブリッドパワコン® ESS-T1 (タイプ 1) ESS-T2 (タイプ 2)



3つの電池をまとめて効率よくコントロール。

太陽電池、蓄電池、電気自動車の内蔵電池の3電池を統合制御。それぞれの充放電動作をDC接続のまま高効率に行えます（タイプ 1）。パワコンの周辺機器は後からでも追加増設可能な為、長く使う太陽光発電のベストパートナーです。



通常時 5.9kW、 停電時 3kVA の大出力

通常時は 5.9kW の大出力、必要な電気はしっかり使えます（系統連系時）。停電時も 3kVA で安心（蓄電池のみ利用時 2kVA）。また、太陽光は、6.6kW / 3 入力搭載しており、短時間で充電することが可能です。

屋外設置

サイズが W727×H560×D257mm（取付金具、突起部含まず）、重量 42kg（タイプ 2 は 36kg）の壁掛型屋外設置で場所を取らないコンパクト設計。

15年無償保証

15年間の無償保証付きですので、長期間安心してお使いいただけます。
※室内リモコンは 5 年無償保証です。

蓄電池ユニット・増設ユニット

ESS-BS

ESS-BM



蓄電池ユニット



増設ユニット

使い方に合わせて増設できます。

お求めやすい電池容量4kWh、ライフステージの変化に合わせて増設し、合計8kWhに拡張可能。

電池容量 4kWh、 プラス増設用 4kWh

初めて家庭用蓄電システムを設置するご家庭にぴったりの電池容量4 kWh。蓄電池を追加すれば合計 8kWh となります。

室内設置

コンパクトで場所を取らない屋内設置タイプ。納戸や階段下の空いたスペースに設置可能。

10年無償保証

10年間の無償保証と初期値 50%の容量保証付きですので、長期間安心してお使いいただけます。

V2H スタンド ESS-V1



電気自動車を大容量蓄電池としても活用できます。

系統電力からだけでなく、太陽光発電や蓄電池から電気自動車への倍速充電が可能。また、通常時、割安な夜間電力を電気自動車に充電し、昼間は電気自動車のバッテリーに蓄えた電力を家庭に給電することで、家計の節約につなげることもできます。停電時には、電気自動車の大容量バッテリーからご家庭に電気の供給も行えるので、災害時のバックアップ電源としても安心です。

倍速充電

太陽光で作った電力や系統からの電力を電気自動車に素早く充電（通常 200V 充電設備の倍速充電）できるので、電気自動車を毎日お使いいただくご家庭でも、短時間でその日の走行で使った電力分を充電できます。

スリムな奥行き

少しでも駐車スペースを確保したいというニーズに応えた、奥行 22 センチのスリムな筐体です。また、7.5mの充放電ケーブルを付属しておりますので、電気自動車から少々離れたスペースにも設置できます。

10年無償保証

10年間の無償保証付きですので、長期間安心してお使いいただけます。

室内リモコン (トライブリッドパワコン® に付属) ESS-R5 5 年無償保証



タッチパネルで簡単操作!室内リモコンを標準装備。

5インチカラー液晶タッチパネル方式の室内リモコン付き。太陽光の発電量※、蓄電池や電気自動車への充放電量や「エレムープ®」などが一目で確認できるほか、過去の実績やメンテナンス状態もリモコン画面で簡単に見ることができます。
※タイプ 1 のみ。



見守りサポート

ネットワークに接続すれば、運転データをサーバーで分析し、運転状態をお知らせしたり、メンテナンスを行うなど、常にお客様の蓄電システムの安心を見守ります。（ルーターからインターネットへの接続は、お客様のネットワーク環境を利用します。）

多彩なネットワーク機能

ネットワーク経由にて、太陽光発電の出力制御や将来始まるVPP（バーチャルパワープラント）などの外部制御が必要な場合でも、HEMS なしで対応可能。他社の HEMS に接続することも可能です。（詳細は販売店にお問合せください。）

製品仕様

トライブリッドパワコン® ESS-T1 / ESS-T2

型番	ESS-T1	ESS-T2
外形寸法	W727×H560×D257mm (取付金具、突起部含まず)	W727×H560×D257mm (取付金具、突起部含まず)
本体質量	42kg (取付金具含まず)	36kg (取付金具含まず)
系統連系出力	電気方式	単相 3 線式
	定格出力	5.9kW±5% (蓄電池のみ 2.0kW) (力率 1,0.95)
	定格出力電圧	AC 202V
	出力電圧範囲	AC 202V±20V
	定格周波数	50 または 60Hz
	定格力率	0.95
自立出力	電流歪率	総合電流歪率 5%、各次電流歪率 3% 以下 (定格出力時)
	電気方式	単相 2 線式
	定格出力	3.0kVA±5% (蓄電池のみ利用時 2.0kVA)
	定格出力電圧	AC 101V
	出力電圧範囲	AC 101V±6V
	定格周波数	50 または 60Hz
インバータ	変換方式	連系運転時：自励式電圧型電流制御方式 自立運転時：自励式電圧型電圧制御方式
	スイッチング方式	正弦波 PWM 方式
太陽光発電入力	接続方式	マルチストリング方式
	制御方式	最大電力点追従制御 (MPPT)
	入力回路数	3 回路
	定格入力電圧	DC 380V / 1 回路
	入力運転電圧範囲	DC 50 ~ 450V / 1 回路
	MPPT 制御可能電圧範囲	DC 70 ~ 390V / 1 回路
	最大入力電流	13.5A / 1 回路
	最大入力電力	2.2kW / 1 回路、6.6kW / 3 回路
	PV ストリング開放電圧	DC 450V 以下 / 1 回路
変換効率 (系統連系時)	太陽光	定格出力時：95% ^{※1}
	蓄電池	定格出力時：94%
定格出力可能 時間	系統連系時 (4kWh)	110 分
	自立出力時 (4kWh)	105 分
	系統連系時 (8kWh)	225 分
	自立出力時 (8kWh)	215 分
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式	非絶縁トランスレス方式
冷却方式	強制空冷方式	強制空冷方式
不要輻射	VCCI class B 準拠	VCCI class B 準拠
運転時騒音	40dB-A 以下	40dB-A 以下
設置環境	設置条件	パワーコンディショナ：屋外、標高 2,000m 以下 (-30 ~ +40℃) 室内リモコン：室内 (0 ~ +40℃)
	動作温度	パワーコンディショナ：-20 ~ +40℃ 室内リモコン：0 ~ +40℃ (結露無きこと)
希望小売価格 (税抜価格)		¥1,100,000

V2H スタンド ESS-V1

型番	ESS-V1
外形寸法	W619×H1305×D222mm (突起物含まず)
本体質量	91kg
ケーブル	約 7.5m
充電部 (系統連係時)	電気方式
	定格電圧
	AC 202V
放電部 (系統連係時)	定格周波数
	出力電力
	6kW 未満 ^{※2}
放電部 (自立出力時)	電気方式
	定格電圧
	AC 202V
放電部 (自立出力時)	定格周波数
	出力電力
	5.9kW ^{※3}
E V 側電圧範囲	電気方式
	定格電圧
	AC 101V
不要輻射	定格周波数
	出力電力
	3kVA ^{※3}
I P 等級	DC150V~450V
	VCCI class B 準拠 ^{※4}
	IP36
設置環境 ^{※5}	設置条件
	動作温度
冷却方式	屋外、標高 2,000m 以下
	-30 ~ +40℃
運転時騒音	-20 ~ +40℃
	強制空冷方式 ^{※6}
希望小売価格 (税抜価格)	40dB-A ^{※7}
	¥1,100,000

蓄電池ユニット・増設ユニット ESS-BS / ESS-BM

型番	ESS-BS	ESS-BM
外形寸法	W572×H349×D239mm	
本体質量	51kg	50kg
蓄電池公称容量		4.0kWh
蓄電池初期実効容量		3.8kWh (JEM 1511 による) ^{※8}
電池種類		リチウムイオン蓄電池
電池セル定格容量		2.8Ah
放電深度		100%
電池構成		1 モジュールあたり 28 直 7 並、全 2 モジュール直列構成
蓄電池定格電圧		DC 203.8V
蓄電池定格入力動作電圧範囲		DC 168V ~ 224V
設置環境	設置条件	室内 (-10 ~ +40℃)
	動作温度	0 ~ +40℃ (結露無きこと)
希望小売価格 (税抜価格)		¥900,000

- (※1) JIS C 8961 に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します。
- (※2) 機器の入力電力値であり、実際の充電出力を保証している数値ではありません。
- (※3) 車両の状況により電力が低下する場合があります。
- (※4) 受信障害となる場合がありますので、ラジオ、テレビ、アマチュア無線等の電波を利用する機器とは 3m 以上離して設置してください。
- (※5) 岩礁隣接地域、重塩害地域、離島では使用できません。温泉等の腐食性ガスのある環境では、機器の動作に影響を及ぼす可能性があります。事前にご確認ください。
- (※6) 動作中は、V2H スタンド内蔵ファンの動作音が発生します。壁との距離等、設置環境により、音の聞こえ方が異なることがあります。本体の内部温度が高くなると、本体の排気ファンが高速になり、作動音が大きくなることがあります。
- (※7) JISC1509-1 で規定する A 特性サウンドレベルを示します。
- (※8) 製品正面中央から 1m、高さ 1m の距離での測定値です。
- (※9) 実際に充電できる容量は、充電深度と電力変換効率をかけた値となり、環境温度や使用電力によって増減します。また、充電システムの使用年数の経過とともに、徐々に減少します。
- ※蓄電池は経年劣化により容量が徐々に減少します。この劣化スピードは充電電の頻度・使用環境 (温度等) により異なります。

オプション

品名	型番	備考	希望小売価格 (税抜価格)
オプション	パワコン用日除け板	ESS-H3	—
	汎用パワコン取り付けボード	ESS-H4	¥80,000
ケーブル	蓄電池増設ラック	ESS-H5	—
	CT ケーブル AC 用 20m	ESS-C22	20m
	CT ケーブル AC 用 30m	ESS-C23	30m
	CT ケーブル AC 用 40m	ESS-C24	40m
	CT ケーブル PV 用 20m	ESS-C32	20m
	CT ケーブル PV 用 30m	ESS-C33	30m
	CT ケーブル PV 用 40m	ESS-C34	40m
	通信ケーブル 蓄電池用 20m	ESS-C42	20m
	通信ケーブル 蓄電池用 30m	ESS-C43	30m
	通信ケーブル V2H 用 20m	ESS-C52	20m
	通信ケーブル V2H 用 40m	ESS-C54	40m
	CT センサー 太線径用 φ24	ESS-CT20	内径 φ24
	リモコンケーブル 20m	ESS-R22	20m
	リモコンケーブル 40m	ESS-R24	—
分電盤	トライブリッド用分電盤 (推奨品)	M70540/CH-W3153-1-C1-R	河村電器産業株式会社 / 日東工業株式会社
	自動切替ボックス	ESS-B4	—

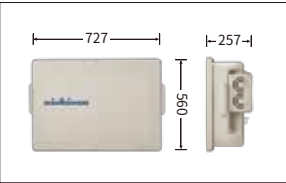


室内リモコン ESS-R5

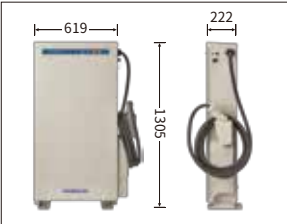
型番	ESS-R5
外形寸法	W170×H140×D23mm
本体質量	320g
希望小売価格 (税抜価格)	トライブリッドパワコンに付属

■製品構成ユニット
(外形寸法 単位 :mm)

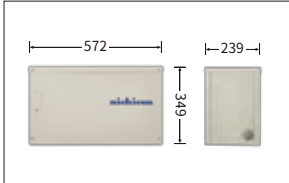
トライブリッドパワコン® ESS-T1 / ESS-T2



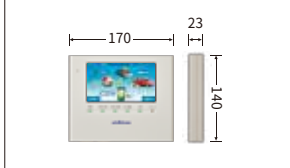
V2H スタンド ESS-V1



蓄電池ユニット・増設ユニット ESS-BS / ESS-BM



室内リモコン ESS-R5



パワーコンディショナと蓄電池ユニットの使用上のご注意

●購入時に補助金の交付を受けた方は設置時から一定期間の使用が義務付けられる場合があり、その間は本製品を適正にご使用していただく必要があります。期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

●蓄電池からの放電中の動作について 電力会社との取り決めにより、放電中に微量電力を賣電しています。蓄電池に貯めた電力は太陽光発電システムと異なり、送電線へ電力を逆流させない決まりとなっています。このため、本製品ではご家庭のご使用電力より約 30W 少なく放電することにより、取り決めに準拠しています。

●蓄電池のメンテナンスモードについて 蓄電池システムの性能維持のために、年 1 回 (6 月) 自動でメンテナンスモードを実行します。メンテナンスモードとは、蓄電池を自動的に点検するモードです。ご家庭の消費電力量が少ない場合は、一日でメンテナンスモードが終了しないことがあります。メンテナンスモードは蓄電池の性能を維持するために必要な機能です。また、メンテナンスモード時には 100W 以上消費する家電製品を接続して動作させてください。

●装置の近くでテレビやラジオなどを使用する場合は、テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。3m 以上離してご使用ください。受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける可能性があります。

●非常時兼用コンセントには、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。夜間や曇りなどで発電電力または蓄電池の電力が不足すると装置は停止し、家電製品の電源が切れます。大切なデータの入ったパソコン等、途中で電源が切れると困る電気製品は接続しないでください。

●非常時兼用コンセントには AC100V で連系時最大 30A (3000W) 未満の機器を接続してください。大型のエアコンや IH 機器、エコキュートなどの 200V 機器は接続できません。また一度に多くの機器をご使用になると保護のために出力が頻繁に停止し、機器の故障の原因となることがあります。ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。

●燃料電池を併設する場合は、設置・接続方法などを販売店へお問い合わせください。

●併設する太陽光システムに制約がある場合 (メーカー、型番、容量) があります。

●近隣にアマチュア無線局がある場合、電波受信に影響を与える可能性がありますので、事前に販売店にご相談ください。

●動作温度範囲外では運転を停止します。

V2H スタンドの使用上のご注意

●吸気口や排気口を塞がないでください。内部の温度が上昇し危険です。

●ブレーカーが落ちた場合は、原因を取り除いてから電源を入れ直してください。

●災害によって停電した場合は、安全を確認してから本機を稼働させてください。

●可燃ガスや引火物を製品の近くで使用しないでください。発煙発火の原因になることがあります。

●濡れた手でコネクタに触れたり、抜き挿しすることしないでください。感電の危険性があります。

●コネクタがロック中は、コネクタをこじぐるなどして無理に抜かないでください。高電圧の印加されている箇所があり危険です。

●本体、コネクタ、充放電ケーブル等は絶対に修理・分解・改造をしないでください。高電圧の印加されている箇所があり危険です。

●充放電ケーブルを車で踏んだり、足を引っ掛けるなどして強い力が加わると、本体、コネクタおよび充放電ケーブルが破損する可能性があります。

●本体に強い衝撃を与えたり、本体の上に乗りたり、物を置いたり、ひきずったりしないでください。本体の故障につながる可能性があります。

●コネクタや充放電ケーブルに損傷、腐食、サビがある場合、または充放電の接続にカタや緩みがある場合は、充放電を行わないでください。漏電、感電、ショート、火災の原因になります。

●雷が鳴り出したら、車両や本体に触れないでください。落雷による感電の恐れがあります。

●万一、異音や異臭がしたり、エラーが表示された場合は、速やかに使用を中止し、お客様相談窓口にご相談ください。

●停電時の自立運転時には V2H スタンドから給電される場合において、V2H スタンドの給電能力を超えると停電が発生します。そのため、録画機器やパソコンなど、途中で電源が切れると困る電気製品の使用においてはご注意ください。瞬時停電で影響の出る家電製品は、バックアップ電源 (UPS) などの利用をお奨めします。

●接続車両については、弊社ホームページをご確認ください。

●車種の違いにより起動方法が異なる場合がありますので、車両の取扱説明書をご確認ください。

●停電時の自立運転起動時には DC12V 電源ケーブルの接続が必要な車両があります。取扱説明書をご参照ください。

商品改良のため仕様・外観は予告なしに変更することがあります。
このカタログの記載内容は 2019 年 9 月 1 日現在のものです。